

令和元年度

事業報告書

公益財団法人 新潟県健康づくり財団

令和元年度事業報告書

【 概 要 】

令和元年度事業の実施に当たっては、保健及び福祉の向上に寄与することを目的として、県民の健康づくりを推進するため、健康の保持・増進及びがん、脳卒中、心臓病などの生活習慣病等の疾病（以下「生活習慣病等」という。）予防、早期発見、健康づくりに関する各種事業を行った。

また、本財団の目的を達成するため、県、市町村、医師会・歯科医師会等の関係機関、新潟大学及び医療機関と連携し事業を進め、県民の健康増進に努めた。

令和元年度は、若年者と高齢者の“健康”についての普及啓発活動として、特に以下4点の事業に重点的に取り組んだ。

【1 中学生に対する生活習慣病予防等教育】

平成26年度から行っている中学生を対象とした医師による“がん”をはじめとする生活習慣病の予防教育については、生徒自身の意識変容につながる等の成果も得られていることから、令和元年度は、村上市他8市村、12校（1,873人）と前年度の3市5校（790人）から実施校を大幅に拡大して実施した。

【2 がん治療と就労両立支援セミナー（新規事業）】

医師、行政、サバイバー、企業の労務担当者等をパネリストとして招き、医療や企業関係者等50人の参加者を交えて、「がんになっても働きたい！」という視点から患者が治療と仕事を両立する上での課題や支援についての議論を行った。

【3 アルコール健康障害防止対策の基礎知識講演会（新規事業）】

多量飲酒は、飲酒者自身の健康被害（肝機能障害、がん、脳卒中など）にとどまらず、家族・職場など他人に悪影響を及ぼす場合があることから、アルコール依存症、多量の飲酒、未成年者の飲酒、妊婦の飲酒等の影響による心身の健康障害の発生を防止するための基礎的な知識を習得してもらうことを目的に、参加した市町村、検診機関等の検診事業担当者132名に対し、講演を行った。

【4 フレイル克服プロジェクト】

介護人材の確保が困難な状況の中、高齢者がフレイルにより“要介護状態”になることを予防するため、昨年度に引き続き、本財団が県から委託を受けて、県、新潟大学、市町村及び関係医療機関等との協力により、疾病及び加齢の両面から調査研究を行った。

なお、継続事業のうち普及啓発事業等について、以下の概要で実施した。

1 普及啓発事業

特定健診・特定保健指導及び各種がん検診の受診勧奨広告について、年齢層に合わせた媒体としてラジオを活用し、番組内のミニコーナーや定期的なスポットCMの放送により啓発を行った。

また、子育て世代の女性を主なターゲットとして、フリーマガジン「はっぴーママ」に広告を掲載したほか、通勤等による電車利用者をターゲットとして、県内エリアのJR電車内に特定健診、がん検診の受診勧奨広告を掲載し、受診率向上に努めた。電車内広告については、前年度の動画広告から常時見ることができる貼付けの掲示広告に変更した結果、より多くの反響があった。

さらに、参加者に直接訴求できるイベントとして新潟ふるさと村で開催の「BSN夏ラジオ2019」に出展した。2日間で約500人の参加者に対し、乳がん病巣モデルによるセルフチェック体験や血管年齢測定等を行い、生活習慣病に関する啓発を行った。

一般住民を対象とした啓発では、新発田市、上越市、関川村と共催で生活習慣病予防等に関する講演会を開催し150人の参加者に予防知識の普及啓発を行った。

2 研究研修事業等

新潟県がん検診研究会及び新潟県糖尿病対策推進会議主催による特別講演及びシンポジウムを行った。

また、検診体制の整備、検診精度の向上については、検診従事職員に対する乳がん検診、大腸がん検診の各セミナー及び細胞診研修会を開催するとともに、禁煙対策を推進するため禁煙支援研修会を開催した。

3 健康診査事業連絡調整事業

新潟県国民健康保険団体連合会から市町村国保及び県内3国保組合（医師国保、薬剤師国保、建築国保）の健診等実施に関する支援事業の委託を受けた。

また、各種がん検診が健康増進法に基づき実施されており、市町村から検診に付随する業務の委託を受け、概ね当初の計画どおり事業を実施した。

4 健康情報管理事業

特定健診及び各種がん検診の健(検)診結果について統計分析を行い、全県、市町村別、検診機関別等の集計データを関係機関に還元し、各種健(検)診の精度管理に寄与した。

また、市町村からの申込みに基づき、各種(胃・子宮・乳・肺・大腸・前立腺)がん検診のデータ還元を実施した。

収益事業としては、県下459健診実施機関の委託を受けて特定健診結果の電子化代行処理を実施した。

5 疫学調査事業

各種がん検診の結果「がん」又は「がんの疑い」と判定された者について、精検医療機関等の協力を得て疫学調査を実施し、発見がんの詳細について把握した。

また、追跡調査として3年後及び5年後の生存状況等について、関係市町村の協力を得て調査を実施し疫学調査データの補完を行うとともに、疫学調査結果と併せて新潟県、市町村、検診機関等にフィードバックすることにより、本県のがん検診精度の維持・向上に寄与した。

6 がん登録事業

平成28年1月から施行された「がん登録推進法」に基づく「全国がん登録」について、県の委託により、関係医療機関の協力のもと情報収集事業を実施し、本県のがん対策の推進に寄与した。

7 脳卒中情報システム事業

県の委託により、市町村、医療機関からの情報提供を受けて集計・解析した報告書を作成した。併せて、関係者及び関係機関に対し情報のフィードバックを行った。

8 連携事業

(公財)日本対がん協会との連携については、同協会の後援により第36回がん征圧新潟県大会を開催し、見附市民等350人の参加者に対し、定期的な検診による早期発見・早期治療の重要性等についてPRすることができた。県大会は、がん征圧運動の全県的な展開を図るため平成26年度以降は県内各市町村との共催により開催を重ねてきたが、令和元年度は見附市・東北次世代

がんプロ養成プランとの共催により開催した。今回は女優・タレントの原千晶さんから子宮がんの体験談、順天堂大学の樋野名誉教授から「がん哲学外来」について特別講演をいただいた。

また、日本対がん協会発行の子宮頸がん及び乳がん検診の無料クーポン券を主な検診機関を通じて配布し、がん検診の未受診者の掘り起しを図った。

〈 理事会・評議員会等開催状況 〉

次のとおり開催し、付議事項について議決された。

第25回 定例理事会

開催日： 令和元年6月4日（火）

場 所： 新潟県医師会館

決議事項： 第1号議案「平成30年度事業報告」について

第2号議案「平成30年度決算報告」について

第3号議案「定時評議員会へ提出する役員等候補者名簿」について

第4号議案「定時評議員会の開催日時及び場所並びに目的等」について

第26回 定例理事会（決議の省略）

決議成立日： 令和2年3月25日（水）

決議事項： 第1号議案「令和2年度事業計画の承認」について

第2号議案「令和2年度収支予算の承認」について

第17回 定時評議員会

開催日： 令和元年6月24日（月）

場 所： 新潟県医師会館

決議事項： 第1号議案「平成30年度事業報告」について

第2号議案「平成30年度決算報告」について

第3号議案「役員等の選任」について

報告事項：（1）「平成31年度事業計画」について

（2）「平成31年度収支予算」について

平成30年度事業・決算監査

開催日： 令和元年5月30日（木）

場 所： 財団会議室

監 査：（1）平成30年度事業報告について

（2）平成30年度決算報告について

[公益目的事業]

I 特定健診・特定保健指導支援事業

「新潟県健診保健指導支援協議会」の構成団体として、受診率の向上等円滑な事業実施を図るため研修会等の開催、広告媒体を用いた広報、健診データの評価分析等を実施した。

1 会議・講演会等の開催

(1) 健康診査事業合同打合せ会（「II がん検診等受託事業」と共同事業）

令和2年度の健康診査事業等を円滑に推進するため、市町村、県健康福祉(環境)部、検診機関、郡市医師会等の担当者を対象として、県、県医師会、県国保連の協力により、次のとおり開催した。

開催日： 令和2年2月4日(火)

場 所： ユニゾンプラザ 大研修室

出席者数： 132人

(2) 市町村と共同で開催する講演会（「II がん検診等受託事業」と共同事業）

生活習慣病に関する正しい知識の普及と特定健診・特定保健指導の受診勧奨を目的として、次のとおり3市村で開催した。

< 歯科講演会 >

開催日： 令和元年6月12日(水)

場 所： 関川村農村文化交流センター

参加者： 50人

内 容： 講演 「あなたのお口は大丈夫?～長生きの秘訣と歯と口の健康」
講師 日本歯科大学 新潟生命歯学部 教授 小松崎 明

< 生活習慣病予防講演会 >

開催日： 令和元年10月1日(火)

場 所： 上越市市民プラザ

参加者： 83人

内 容： 講演 「虚血性心疾患で倒れないために」
講師 新潟南病院 内科・リハビリテーション科 部長

小幡 裕 明

< 歯科講演会 >

開催日： 令和元年11月27日(水)

場 所： 新発田市生涯学習センター

参加者： 124人

内 容： 講演 「噛めば噛むほど健康長寿
～おいしく食べて笑って生きるヒント～」

講師 新潟大学大学院医歯学総合研究科 包括歯科補綴学分野
教授 小野 高 裕

(3) 中学生に対する生活習慣病予防等教育（「Ⅱ がん検診等受託事業」と共同事業）

中学生に対し、がんをはじめとした生活習慣病についての基礎知識や検診の重要性について普及啓発を行った。

ア 村上市立朝日中学校

実施日： 令和元年5月27日（月）

出席生徒数： 154人

内 容： 「がん」を知るための授業

講 師： 新潟県労働衛生医学協会附属 新潟ウエルネス所長

月 岡 恵

イ 新潟市立柳都中学校

実施日： 令和元年6月7日（金）

出席生徒数： 216人

内 容： がんという病気のこと

講 師： 新潟県立がんセンター新潟病院 院長 佐藤 信 昭

ウ 小千谷市立小千谷中学校

実施日： 令和元年9月5日（木）

出席生徒数： 156人

内 容： 10代の君に知っておいて欲しい「がん」のこと

講 師： 済生会新潟病院 外科部長 田 邊 匡

エ 長岡市立東北中学校

実施日： 令和元年9月19日（木）

出席生徒数： 239人

内 容： “がん”と放射線治療

講 師： 新潟大学大学院医歯学総合研究科 放射線医学教授

青 山 英 史

オ 新発田市立川東中学校

実施日： 令和元年9月20日（金）

出席生徒数： 85人

内 容： “がん”についてのお話

講 師： 新潟大学医学部 保健学科看護学専攻教授 小 山 諭

カ 上越市立城北中学校

実施日： 令和元年9月25日（水）

出席生徒数： 138人

内 容： がんを知る、そして身を守る

講 師： 新潟県立中央病院 内科内視鏡センター長 船 越 和 博

- キ 柏崎市立東中学校
 実施日： 令和元年9月30日（月）
 出席生徒数： 284人
 内 容： がんを知る、そして身を守る
 講 師： 新潟県立中央病院 内科内視鏡センター長 船 越 和 博
- ク 村上市立山北中学校
 実施日： 令和元年10月7日（月）
 出席生徒数： 88人
 内 容： 高齢化社会と消化器がんについて
 講 師： 新潟大学医学部 消化器疾患診療ネットワーク講座 特任准教授
 上 村 博 輝
- ケ 新発田市立第一中学校
 実施日： 令和元年11月13日（水）
 出席生徒数： 374人
 内 容： 医師（+教師+研究者）の仕事を通じて
 講 師： 新潟大学医歯学総合病院長 富 田 善 彦
- コ 上越市立安塚中学校
 実施日： 令和元年11月26日（火）
 出席生徒数： 40人
 内 容： がんについて -いのちの講演会-
 講 師： 新潟県労働衛生医学協会 会長 佐 藤 幸 示
- サ 刈羽村立刈羽中学校
 実施日： 令和元年11月29日（金）
 出席生徒数： 35人
 内 容： 胃がんのおはなし
 講 師： 厚生連長岡中央総合病院 副院長 佐 藤 祐 一
- シ 燕市立燕北中学校
 実施日： 令和元年12月10日（火）
 出席生徒数： 64人
 内 容： 「がん」について考えてみませんか？
 講 師： 新潟大学大学院医歯学総合研究科 生体機能調節医学専攻
 機能再建医学 准教授 亀 山 仁 史

（４）健診委員会

新潟県健診保健指導支援協議会が設置した特定健診に関する事項を検討する健診委員会（委員長 新潟県立大学人間生活部・健康栄養学科教授 田邊直仁）を運営

し、令和2年度特定健診料金（案）について協議した。

2 特定健診データ等の評価分析等

市町村国保等の健康施策の作成等に資するため、特定健診等の結果集計報告を基に、全県的な分析を行い、市町村比較が容易となるよう資料を作成し市町村に提供した。

3 特定健診・特定保健指導の普及啓発及び受診率向上のための事業等

(1) 広告媒体を用いた普及啓発等

ア 鉄道広告（「Ⅱ がん検診等受託事業」と共同事業）

4月から1年間、県内エリアのJR電車内のドア上に、特定健診及びがん検診の受診勧奨広告を掲載した。

イ ラジオコマーシャル（「Ⅲ 生活習慣病予防普及啓発事業」と共同事業）

4月から12月までの間、生活習慣病予防啓発及び特定健診、がん検診の受診勧奨を目的として、週2回コマーシャルを放送した。

ウ ラジオ番組（「Ⅲ 生活習慣病予防普及啓発事業」と共同事業）

B S Nラジオ番組「ゆうなびラジオ」内で「こどもの肥満」をテーマに全4回のコーナー（1回約5分間）を放送した。

講師：新潟大学医歯学総合病院 小児科 特任講師 小川 洋平

(2) 普及啓発用パンフレットの配付

特定健診受診勧奨用パンフレットを市町村国保、県内3国保組合へ配付した。また、イベント参加者にパンフレットを配布した。

(3) 普及啓発用（貸出用）備品整備（「Ⅲ 生活習慣病予防普及啓発事業」と共同事業）

市町村等の関係機関に対し、生活習慣病予防に関するタペストリー、機器等の健康教育資材の貸出を行った。（貸出件数 35件）

(4) 各種健康づくりイベントへの参加（「Ⅱ がん検診等受託事業」と共同事業）

B S N夏ラジオ2019のイベントに出展し、参加者に対し特定健診及びがん検診等の普及啓発を図った。

開催日： 令和元年7月20日（土）、21日（日）

場 所： 新潟ふるさと村

参加者： 500人

内 容： 血管年齢測定、乳がん触診体験、歯周疾患チェック、
受診勧奨用パンフレット配布等

4 特定健診・特定保健指導委託契約に係る事務

特定健診・特定保健指導を全県統一方式で推進するため、本財団が特定健診・特定保健指導実施機関の契約代表者となって、業務委託契約を締結した。

5 印刷物の企画、印刷・配付等

(1) 特定健診個人記録票、質問票、連名簿等の印刷

大量印刷することによるコストダウンを図るため、健（検）診ガイドラインに掲載されている様式について市町村等の必要部数を取りまとめた上、一括印刷を行い配付した。

(2) 特定健診・特定保健指導受診勧奨用ポケットティッシュの配布

特定健診・特定保健指導受診勧奨用にポケットティッシュ（30万個）を市町村等に配付した。

6 新潟県健診保健指導支援協議会構成団体共同事業

新潟県健診保健指導支援協議会の構成団体と特定健診の普及啓発及び受診勧奨を図るため、受診勧奨用パンフレット（5,000部）を作成し、各構成団体に配付した。

II がん検診等受託事業

1 健康診査事業連絡調整事業

(1) 市町村健康診査等担当者研修会の開催

健康診査事業の円滑な推進を図るため、健康増進法及び高齢者の医療の確保に関する法律等の業務に従事する新任担当者等に対し、次のとおり研修会を開催した。

開催日： 令和元年5月20日（月）

場 所： 新潟県医師会館

出席者数： 43人

(2) がん検診並びに肝炎ウイルス要指導者等施設検診実施に係る業務

新潟県の「健（検）診ガイドライン」に基づき、全県統一方式で実施されるがん検診並びに肝炎ウイルス要指導者等施設検診を実施する上での問題点を把握し、全県的な取りまとめ及び検討、並びに検診事業を円滑に実施するためのコーディネート等を行った。

() 内は平成30年度実績

ア 胃がん検診

契約市町村数	30	(30)
受診者数	81,040人	(83,790人)

イ 子宮がん検診

車 検 診

契約市町村数	28	(26)
受診者数	27,606人	(27,799人)

<u>施設 検診</u>		
契約市町村数	28	(28)
受診者数	21,199人	(21,378人)
<u>体がん検診</u>		
契約市町村数	3	(4)
受診者数	560人	(604人)
ウ 肺がん検診		
<u>X線写真読影</u>		
契約市町村数	30	(30)
受診者数	210,399人	(213,200人)
<u>喀痰検査</u>		
契約市町村数	30	(30)
受診者数	4,367人	(4,718人)
エ 乳がん検診		
<u>集団(マンモ)</u>		
契約市町村数	29	(28)
受診者数	50,010人	(49,418人)
<u>施設(マンモ)</u>		
契約市町村数	18	(18)
受診者数	12,000人	(12,103人)
<u>施設(視触診)</u>		
契約市町村数	1	(1)
受診者数	2人	(4人)
オ 大腸がん検診		
契約市町村数	30	(30)
受診者数	130,012人	(130,333人)
カ 肝炎ウイルス二次検診		
契約市町村数	2	(2)
受診者数	380人	(546人)
キ 前立腺がん検診		
契約市町村数	12	(12)
受診者数	8,648人	(8,534人)

2 がん登録事業

県の委託により関係医療機関への届出用CD-R等の配付、がん登録情報の收受など、がん対策を効果的、効率的に推進するための情報収集事業を行った。

()内は平成30年度実績

登録票受付件数	29,987件	(29,991件)
届出医療機関数	173機関	(157機関)

3 検診結果統計分析事業

下記に記載の各種がん検診の検診結果について、全県的な統計分析を行い市町村等関係者に結果報告書を作成し配付した。

・胃がん検診	81,040件
・子宮がん検診	48,805件
・肺がん検診 (胸部)	210,399件
・ 〃 (喀痰)	4,367件
・乳がん検診	62,012件
・大腸がん検診	130,012件
・前立腺がん検診	8,648件

4 がん検診データ還元事業

希望市町村に対し個人の検診結果を電子データで還元した。

がん検診データ還元 ()内は平成30年度実績

・胃がん検診実施市町村数	3	(3)
・子宮がん検診実施市町村数	3	(3)
・乳がん検診実施市町村数	3	(3)
・肺がん検診実施市町村数	3	(3)
・大腸がん検診実施市町村数	3	(3)
・前立腺がん検診実施市町村数	1	(1)

5 がん検診データ等一元化事業

県内で実施されている事業所検診等の健(検)診の実態把握が不十分であり、健(検)診事業の全体把握ができない現状であることから、がん検診結果について県検診機関協議会の協力を得て、事業所検診等の任意型検診の結果を収集し分析した。

6 疫学調査事業

平成30年度の各種(胃・子宮・肺・乳・大腸)がん検診結果に基づき「がん」又は「がんの疑い」と診断された者に対する疫学調査を実施した。

また、平成28年度実施分の結果を取りまとめ「集検から発見された胃がん」「集検から発見された肺がん」として報告書を作成し、関係者に配付した。

さらに、疫学調査により報告された患者に対する追跡調査(平成26年度・平成28年度がん検診受診者)を実施した。

	(平成30年度分) 疫学調査	(平成26年度・平成28年度分) 追跡調査
・胃がん検診実施件数	188件	510件
・子宮がん検診実施件数	157件	189件
・肺がん検診実施件数	310件	374件
・乳がん検診実施件数	145件	405件
・大腸がん検診実施件数	341件	322件

7 精度管理調査事業

伝統ある新潟県の健(検)診及び検診実施機関の質の向上を図り、県民に“安心”して健(検)診を受診してもらうため、「新潟県検診精度管理調査委員会」において、県検診機関協議会員を対象とした実態調査を令和2年度に行うため、調査票の内容の見直し等について検討した。

8 研究研修事業

(1) 新潟県がん検診研究会

新潟県がん検診研究会(会長 青山英史 新潟大学教授)の事業を実施した。

会 員 数	個人 13人	団体 73団体
令和元年8月19日(月)	運営委員会	書面協議
9月2日(月)	第1回理事会	書面協議
令和2年3月11日(水)	第2回理事会	書面協議

第31回新潟県がん検診研究会総会を次のとおり開催した。

開催日： 令和元年12月17日(火)

場 所： 新潟県医師会館

参加者： 36人

内 容：

ア 講演1 「がん診療における放射線治療の役割」

講師 新潟大学大学院医歯学総合研究科 放射線医学分野講師

海 津 元 樹

イ 講演2 「HPV(ヒトパピローマウイルス)ワクチンの

誤解を乗り越え、検診と予防接種の両方で癌を征圧」

講師 自治医科大学附属さいたま医療センター 産婦人科教授

今 野 良

座長 新潟南病院 産婦人科部長

児 玉 省 二

(2) 新潟県糖尿病対策推進会議

新潟県糖尿病対策推進会議(会長 渡部 透 新潟県医師会長)の事業を実施した。

会 員 数	個人	44人	団体	66団体	
令和元年7月19日(金)	第1回幹事会				本財団
8月29日(木)	第1回理事会				新潟県医師会館
10月20日(日)	糖尿病ウォークラリー				長岡赤十字病院
11月20日(水)	第2回幹事会				本財団
令和2年3月11日(水)	第2回理事会				書面協議

第6回新潟県糖尿病対策推進会議総会を次のとおり開催した。

開催日： 令和2年2月15日(土)

場 所： 新潟ユニゾンプラザ

参加者： 73人

内 容：

ア シンポジウム「糖尿病対策における連携について」

座 長 上村医院 院長 上 村 伯 人

シンポジスト

「新潟県の取組について」

新潟県福祉保健部健康対策課 健康食育推進係主査 中 川 圭 子

「健診受診者への保健指導の取組について」

上越市健康づくり推進課主任 今 野 和 美

「糖尿病患者への訪問の取組について」

長岡市福祉保健部健康課 成人保健係主査(保健師) 石 黒 あゆみ

「県立新発田病院での病診連携の取組について」

新潟県立新発田病院 内科医長 鈴 木 裕 美

「ネクスト10(働く世代の健康を守る新しい健診機関と医療機関の連携)
の結果報告」

新潟大学大学院生活習慣病予防検査医学講座 特任教授

(新潟県労働衛生医学協会 理事) 加 藤 公 則

イ 特別講演

演 題 「多職種が連携して取り組む地域包括的な糖尿病合併症重症化予防
～コーディネーター活用の有用性とアウトカム～」

講 師 医療法人社団シマダ嶋田病院 内科部長 赤 司 朋 之
(国立大学法人佐賀大学医学部 臨床教授併任)

座 長 厚生連長岡中央総合病院 糖尿病センター長 八 幡 和 明

(3) 新潟県検診機関協議会

検診事業を実施する24団体で構成されている新潟県検診機関協議会の事業を実施した。

平成31年4月24日（水）第1回役員会	新潟県医師会館
令和元年6月18日（火）定例総会	新潟県医師会館
12月1日（日）福祉・介護・健康フェア2019出展	ハイブ長岡
令和2年3月17日（火）第2回役員会	書面協議

検診従事職員研修会（当初予定日：令和2年3月4日）及びフォローアップ研修会（当初予定日：令和2年3月10日）については、新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため、開催を中止した。

9 新潟県肺がん検討委員会並びに地域肺がん検討委員会

新潟県肺がん検討委員会並びに地域肺がん検討委員会(12地域)において、肺がん検診の円滑な実施及び運営を図るとともに「県生活習慣病検診等管理指導協議会」の肺がん検診部会との連携を図った。

新潟県肺がん検討委員会

委員長 新潟大学大学院医歯学総合研究科
放射線医学分野 教授 青山英史

委員 8人

地域肺がん検討委員会（12地域）

（設置地域） 新潟・村上・新発田・五泉・三条・長岡・魚沼・南魚沼・十日町
柏崎・上越・佐渡

新潟県肺がん検討委員会・地域肺がん検討委員会合同会議を次のとおり書面協議により実施した。

実施日： 令和2年3月2日（月）

議題：

- (1) 委員の交代について
- (2) 平成30年度肺がん検診結果報告について
- (3) 平成29年度肺がん疫学調査・追跡調査について
- (4) 平成30年度地域肺がん検討委員会開催状況について

10 新潟県乳がん検討委員会並びに地域乳がん検討委員会

新潟県乳がん検討委員会並びに地域乳がん検討委員会(5地域)において、「県生活習慣病検診等管理指導協議会」の乳がん検診部会との連携により乳がん検診の円滑な実施及び運営を行った。また、普及啓発を中心に活動を行う「新潟はっぴー乳ライフ」の事業を実施した。

新潟県乳がん検討委員会

委員長 新潟県立がんセンター新潟病院院長 佐藤 信 昭
委員 16人

地域乳がん検討委員会(5地域)

(設置地域) 新潟・下越・中越・魚沼・上越

新潟県乳がん検討委員会・地域乳がん検討委員会合同会議を次のとおり書面協議により実施した。

実施日： 令和2年3月2日(月)

議 題：

- (1) 委員の交代について
- (2) 平成30年度乳がん検診結果報告等について
- (3) 平成29年度乳がん疫学調査結果報告について
- (4) 平成30年度地域乳がん検討委員会の開催状況について

また、企画委員会を次のとおり開催した。

委員長 新潟県立がんセンター新潟病院院長 佐藤 信 昭
委員 8人

開催日： 令和元年10月17日(木)

場 所： 新潟県医師会館

議 題：

- (1) 乳がん検診セミナーの内容について
- (2) その他

新潟はっぴー乳ライフ事業

令和元年5月21日(火)	第1回実行委員会	がん予防総合センター
7月23日(火)	第2回実行委員会	〃
9月17日(火)	第3回実行委員会	〃
12月17日(火)	第4回実行委員会	〃
令和2年3月3日(火)	第5回実行委員会	書面協議

「ピンクリボンホリデー2019」を次のとおり開催した。

開催日： 令和元年10月20日(日)

場 所： 新潟日報メディアシップ

参加者： 570人

内 容：

第1部：リレー講座「知ることがあなたを守る

～みんなで学ぼう乳がんのこと～」

司会 新潟医療福祉大学社会福祉学部准教授

五十嵐 紀 子

講座（１）「乳がんの見つけ方と対処法

～上手な検診利用のための乳がんの知識～

新潟市民病院 乳腺外科部長 坂田 英子

（２）「正しく知ろうマンモグラフィ」

まきの乳腺クリニック 診療放射線技師 海津 牧子

（３）「いつもの暮らしに、がん検診を。」

新潟県福祉保健部健康対策課 主任 中村 春歌

（４）「早期発見で知った検診の大切さ」

あけぼの新潟 石塚 京子

（５）「体験したからこそ伝えたいこと」

あけぼの新潟 代表 内藤 桂子

第２部：講演「乳がん治療と外見の変化

～乳がん患者のアピアランスケアを考える～

講師 国立がん研究センター中央病院 アピアランス支援センター

公認心理師・臨床心理士 藤間 勝子

座長 新潟県立がんセンター新潟病院 看護部 副部長 田村 恵美子

11 新潟県前立腺がん検討委員会

新潟県前立腺がん検討委員会において、前立腺がん検診の円滑な実施及び運営を図るとともに「県生活習慣病検診等管理指導協議会」の胃がん・大腸がん検診部会（前立腺がん検診の内容含む）との連携を図った。

新潟県前立腺がん検討委員会

委員長 新潟大学大学院医歯学総合研究科

腎・泌尿器病態学分野 教授 富田 善彦

委員 12人

検討委員会（当初予定日：令和２年３月７日）については、新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため、開催を中止した。

12 フレイル克服プロジェクト

平成28年10月から県の委託を受けて本財団が「フレイル克服プロジェクト」の事務局となり、「疾病介入モデル事業」と「加齢予防介入モデル事業」を両輪とし、関係機関からの協力を得て事業を実施した。

（１）会議開催

令和元年 7月1日（月） 新潟県フレイル対策事業打合せ会

7月8日（月） 加齢予防介入モデル事業意見交換会

8月6日(火) 疾病介入モデル事業実施報告会

9月9日(月) 加齢予防介入モデル事業(上越地区)打合せ会

(2) 疾病介入モデル事業

- ・心不全(新潟南病院、佐渡総合病院、信楽園病院)
- ・術後低栄養(新潟大学大学院医歯学総合研究科 消化器・一般外科学分野)
- ・進行消化器癌(新潟大学医学部 消化器疾患診療ネットワーク講座)
- ・DOPPO(新潟南病院)

(3) 加齢予防介入モデル事業

- ・小千谷市

開催日: 令和元年9月13日(金) 「骨粗鬆症予防検診結果説明会」 106名参加

12月18日(水) 「骨粗鬆症予防教室」 58名参加

実施内容: 10m歩行速度、握力、基本チェックリスト等

- ・関川村

開催日: 令和2年2月5日(水)、12日(水) 「健脚・健脳うんどう日」 66名参加

実施内容: 10m歩行速度、握力、基本チェックリスト、血管年齢測定等

13 肝炎対策の普及啓発

B・C型肝炎ウイルス感染の早期発見・早期治療に繋げるため、若年層を中心に多くの人が来場するフジロックフェスティバルの開催日に合わせ、越後湯沢駅にて啓発資料を配布し、肝炎に関する正しい知識や肝炎ウイルス検査の必要性の周知を図った。

実施日: 令和元年7月28日(日)

場 所: 越後湯沢駅構内

内 容: 啓発資料(パンフレット、ティッシュ、ミニうちわ等)の配布、啓発DVDの放映

14 アルコール健康障害防止対策の基礎知識講演会(新規)

アルコール依存症その他の多量の飲酒、未成年者の飲酒、妊婦の飲酒等の影響による心身の健康障害の発生を防止するための講演会を「健康診査事業合同打合せ会」で開催した。

開催日: 令和2年2月4日(火)

場 所: ユニゾンプラザ 大研修室

出席者数: 132人

内 容: 「アルコール健康障害防止対策について」

講 師: 国立病院機構久里浜医療センター 精神科医長 松崎 尊信

15 がん治療と就労両立支援セミナー(新規)

がんになっても治療と就労の両立が可能となるよう、職場における取組事例や各種支援制度の周知及び理解促進を図るため、企業の経営者や人事労務担当者、医療

関係者などを対象とするセミナーを次のとおり開催した。

開催日：令和2年2月14日（金）

場 所：新潟市民プラザ

参加者：50人

内 容：

(1) 基調講演「がん治療と就労の両立支援」

講師 日本医師会総合政策研究機構主席研究員 上 家 和 子

(2) パネルディスカッション

司 会 日本医師会総合政策研究機構主席研究員 上 家 和 子

パネリスト

新潟労働局労働基準部 健康安全課長 高 橋 英 人

日本対がん協会 がんサバイバー・クラブマネジャー

横 山 光 恒

新潟県立がんセンター新潟病院 内科部長 今 井 洋 介

株式会社ナカムラ 経営管理部課長 石 黒 ゆ か

新潟産業保健総合支援センター 所長 興 梶 建 郎

新潟医療福祉大学社会福祉学部 社会福祉学科准教授

五十嵐 紀 子

Ⅲ 生活習慣病予防普及啓発事業

1 生活習慣病予防普及啓発事業

(1) 生活習慣病予防事業功労者表彰

「公益財団法人新潟県健康づくり財団功労者表彰要領」に基づき、生活習慣病予防活動に功労のあった方々に表彰を行った。

実施日： 令和元年10月9日（水）

場 所： 見附市文化ホールアルカディア 大ホール

受賞者：

ア 保健文化賞受賞記念特別表彰

個人 椎 名 真 医 師

イ 公益財団法人新潟県健康づくり財団理事長表彰

個人 田 崎 哲 也 医 師

高 内 則 男 〃

若 桑 正 一 〃

宮 一 路 〃

佐 藤 和 弘 〃

平 澤 千 津 子 保 健 師

佐 藤 徳 子 〃

団体 該当なし

(2) 生活習慣病予防展開催

生活習慣病の正しい知識の普及、各種検診の受診率の向上、健康づくりの実践定着を図る目的で関係機関との共催により「生活習慣病予防展」を開催した。

開催日： 令和元年10月9日（水）

場 所： 見附市文化ホールアルカディア ホワイエ

(3) 機関紙発行

健康増進に関する論評、研究成果、その他普及啓発活動の状況及び統計資料等を内容とした機関紙「陽光」を3回発行し、市町村(公民館を含む)をはじめ関係団体、がん征圧維持会員等に配付しPRに努めた。

ア 第24号（令和元年7月31日発行）

「最新のがん薬物療法」

新潟大学大学院医歯学総合研究科 腫瘍内科学分野教授 西 條 康 夫

「大腸がん検診の現況と未来像」

新潟大学医歯学総合病院 光学医療診療部准教授 横 山 純 二

イ 第25号（令和元年11月30日発行）

「第36回がん征圧新潟県大会開催報告・

『がん哲学外来～ことばの処方箋～』講演要旨（樋野興夫）」

「ピンクリボンホリデー2019 リレー講座」

新潟医療福祉大学社会福祉学部 社会福祉学科准教授 五十嵐 紀 子

ほか講師2名

「高齢期において健康で明るい毎日を過ごすために

～フレイル予防と栄養（食生活）について～」

公益社団法人新潟県栄養士会 副会長

折 居 千恵子

ウ 第26号（令和2年3月31日発行）

「前立腺がん検診の有用性と現況・課題」

新潟大学医歯学総合病院 泌尿器科講師

笠 原 隆

「がん検診の効果的な個別受診勧奨」

国立がん研究センターがん対策情報センター

溝 田 友 里

山 本 精一郎

(4) 広報活動

ア 新聞広告等

9月と11月に新潟日報朝刊に、がん征圧新潟県大会の開催案内及び講演録を掲載し、がん予防の普及啓発を行った。

イ フリーペーパー広告

子育て世代の女性を主なターゲットに、フリーペーパー「はっぴーママ」に3回にわたり受診勧奨の広告を掲載した。

4月25日発行分 : 大腸がん

6月25日発行分 : 肝炎ウイルス

10月25日発行分 : 子宮頸がん

2 脳卒中情報システム事業

県の委託により、医療機関からの退院時情報提供及び脳卒中発症調査票並びに市町村からの脳卒中調査票を収集し、審査・集計・解析の上、報告書を関係機関に配付した。

退院時情報提供受理件数	453件	提出医療機関数	8施設
脳卒中調査票受理件数	267件	提出市町村数	18市町村
脳卒中発症調査受理件数	599件	提出医療機関数	51施設

IV (公財)日本対がん協会との連携事業

1 がん予防普及事業

(公財)新潟県健康づくり財団 がん征圧維持会員募金状況

維持会員募金の実績は次のとおりである。

・ 法人会員	自治体会員	30市町村	1,225,000円
	医師会会員	16団体	400,000円
	検診団体会員	24団体	240,000円
	一般法人会員	39団体	390,000円
・ 個人会員		50人	210,000円
	(合 計		2,465,000円)

2 広報活動

ポスター・リーフレットの配布 (部数)

ポスター「がん征圧月間」	350枚
ポスター「禁煙推進」	350枚
リーフレット「がん検診」	1,000部
リーフレット「乳がんのセルフチェック」	1,930部

3 第36回がん征圧新潟県大会

県民にがんに対する正しい知識の普及を図り、定期的な検診による早期発見・早期治療の重要性をPRし、がん撲滅の誓いを新たにするため関係機関の協力のもと次のとおり開催した。

なお、新潟大学等が参画している「東北次世代がんプロ養成プラン」との共催により開催した。

開催日： 令和元年10月9日（水）

場 所： 見附市文化ホールアルカディア 大ホール

参加者： 350人

内 容：

（1）式 典

（2）体験談「大切にしたい自分の体～2度の子宮がんを経験して～」

講 師 よつばの会代表・女優・タレント 原 千 晶

（3）特別講演 「がん哲学外来～ことばの処方箋～」

講 師 順天堂大学 名誉教授／新渡戸稲造記念センター長

樋 野 興 夫

（4）ミニコンサート

アルカディア音楽祭合唱団

4 無料クーポン券の配布

日本対がん協会発行の子宮頸がん及び乳がん検診の無料クーポン券を主な検診機関を通じて配布し、がん検診の受診促進を図った。（配布部数 175部）

V 研究研修事業

1 細胞検査士研修会

肺がん検診及び子宮がん検診の受診拡大及び精度向上を図るため、細胞検査士の資質向上を目的として、県の委託により研修会を次のとおり開催した。

開催日： 令和元年8月16日（金）、17日（土）

場 所： 新潟県医師会館

参加者： 71人

内 容：

（1）鏡検

（2）症例検討

ア 講 演「肺癌の生検診断」

講 師 新潟県立がんセンター新潟病院 病理診断科医長

西 田 浩 彰

イ 症例検討「悩ましい呼吸器疾患」

座 長 新潟県立がんセンター新潟病院 研究部長

川 崎 隆

講 師 新潟大学地域医療教育センター 特任教授

長谷川 剛

新潟市民病院 病理診断科 副部長

橋 立 英 樹

新潟大学医学部 病理組織標本センター助教

大 橋 瑠 子

2 大腸がん検診セミナー

本県の大腸がん検診事業をより円滑に推進するため、実施体制の整備充実と検診精度向上に資することを目的として、県の委託により次のとおり開催した。

開催日： 令和2年1月21日（火）

場 所： 新潟県医師会館

参加者： 47人

内 容：

（1）シンポジウム

テーマ 「より精度の高い大腸がん検診を目指して」

座 長 新潟県立中央病院 内科内視鏡センター長 船 越 和 博

シンポジスト

新潟県福祉保健部健康対策課 成人保健係主任 中 村 春 歌

新潟県労働衛生医学協会 臨床検査部課長 小 柳 博 明

新潟県立中央病院 内科内視鏡センター長 船 越 和 博

新潟臨港病院 副院長 鈴 木 裕

（2）講 演 「がん診療における放射線治療の役割と現状」

講 師 長岡中央総合病院 放射線治療科医長 阿 部 英 輔

3 乳がん検診セミナー

本県の乳がん検診事業をより円滑に推進するため、実施体制の整備充実と検診精度向上に資することを目的として、県の委託により次のとおり開催した。

開催日： 令和2年2月10日（月）

場 所： 新潟県医師会館

参加者： 81人

内 容：

（1）講演1 「乳がん検診について～検診機関の立場から」

講 師 新潟県労働衛生医学協会 診療放射線技師 山 崎 薫

（2）講演2 「乳がん治療の最前線」

講 師 済生会新潟病院 外科部長 田 邊 匡

4 禁煙支援研修会

本県の禁煙支援を効果的に推進する人材を養成することを目的として、県の委託により研修会を開催した。

開催日： 令和元年11月5日（火）

場 所： 新潟県医師会館

参加者： 60人

内 容：

(1) 講演「改正健康増進法施行による全国の受動喫煙対策の動向等について
(加熱式たばこの現況も含めて)」

講師 産業医科大学 産業生態科学研究所 教授 大 和 浩
座長 新潟大学 医学部保健学科 教授 関 奈 緒

(2) 情報提供「県の禁煙支援対策と今後の受動喫煙対策」

講師 新潟県福祉保健部 健康対策課主事 町 田 良 介

[収益事業等]

1 特定健診結果電子化代行事業

特定健診料金の請求処理業務を迅速化するため、特定健診結果の電子化業務を健診実施機関から受託し請求業務を代行した。

() 内は平成30年度実績

特定健診結果電子化代行処理業務 459機関 75,096件 (75,831件)

2 特定健診結果個人結果通知書作成事業

特定健診等個人結果通知書の作成依頼があった健診実施機関又は保険者に対し、受診者の特定健診等結果を作成し提供した。

() 内は平成30年度実績

特定健診個人結果通知書作成業務 1市・50機関 1,803件 (2,029件)

事業報告附属明細書

令和元年度は「事業報告の内容を補足する重要な事項」が存在しないので、定款第12条第1項第2号に規定する事業報告の附属明細書は作成しない。

